

IH クッキングヒーター連動の薄型自動伸縮フードを採用 IH クッキングヒーター対応レンジフードファンの高級タイプを発売 業界初^(※1)の「3段階スライド整流板^(※2)」により、高い捕集性能と清掃性を実現

日立アプライアンス株式会社（取締役社長：石津 尚澄）は、収納時に吊戸と同じ奥行きに収まり、使用時にはフードが自動的に伸長する、高級タイプの IH クッキングヒーター対応レンジフードファン HE-900SA を 2 月 1 日から発売します。

本製品では、IH などの上面ヒーターとの連動運転に加え、グリル^(※3)の運転にも連動して、フード下面にある整流板が自動で 3 段階に移動する「3 段階スライド整流板」を新たに採用しました。使用状態に合わせて、吸気口の面積や位置を最適に変えることで、ガスコンロに比べ上昇気流が弱い IH クッキングヒーターでも、蒸気や煙をしっかりと捕集します。また、今回同時に発表する 200V ビルトイン電気オープンレンジ^(※4)との連動運転機能も搭載し、デザインや使い勝手も含めて統一性のあるシステムにより、快適な空間を提供します。

■型式および発売日

型式	本体幅	本体希望小売価格	発売日	当初月産台数
HE-900SA	900mm	220,500 円（税込）	2 月 1 日	1,000 台

※据え付けには、本体の他に幕板などの部品が必要になります。

■新製品の主な特長 <IH クッキングヒーター対応レンジフードファン HE-900SA>

1. キッチンの吊戸サイズに合わせた、収納時奥行き 375mm の薄型自動伸縮フードを採用

薄型自動伸縮フードを採用し、収納時は一般的な吊戸と同じ奥行き 375mm に収まり、キッチンにすっきりフィットします。また、使用時は自動的にフードが手前に伸長して、しっかりと蒸気や煙を吸引します。フード前面は、高品質なステンレス仕上げとしました。

2. 業界初の「3段階スライド整流板」により、高い捕集性能と清掃性を実現

従来機種^(※5)からフード下面に配置している整流板を、本製品では 2 枚重ねて配置し、IH クッキングヒーターの使用状態に合わせて、下側整流板が 3 段階に移動する「3 段階スライド整流板」としました。レンジフードファンの「強」「標準」「弱」モード運転時は奥、「グリル」モード時は中間に移動し、常に高い捕集性能（強モード約 99%、標準モードでも約 94%^(※6)）を実現しました。また、「お手入れ」モード時は手前に移動することで、整流板を清掃しやすくしました。

3. IH クッキングヒーターや電気オープンレンジとの連動運転が可能

IH などの上面ヒーター^(※7)、およびグリルとの連動運転機能を採用しています。また、今回同時に発表する 200V ビルトイン電気オープンレンジとも業界で初めて連動運転します。

4. 使いやすい前面操作と、多彩な運転モードを搭載

使いやすさへの配慮から、フード前面に操作部を配置し、自照式のスイッチボタンも採用しました。また、通常の運転モードに、新たに 24 時間換気に対応する「常時」モードを加え、多彩な運転モードを搭載しました。さらに、フード伸縮動作時は、ブザーで報知するなど、安全性にも配慮しました。

- (※1) 2007年1月11日現在。家庭用IHクッキングヒーター対応レンジフードファンにおいて。
- (※2) 整流板とは、フード内部の吸気口の面積を狭くし、吸気スピードを速くすることで蒸気や煙を効率よく捕集する板のこと。
- (※3) 当社のIHクッキングヒーター HT-A20WFS、HT-A9TWFS、HT-A9TFS と組み合わせて使用した場合。
- (※4) 当社の200Vビルトイン電気オープンレンジ MRO-SK201 と組み合わせて使用した場合。
- (※5) HQ-91SS、HQ-76SS (2006年発売)。
- (※6) 2007年1月11日現在 (当社調べ)。
- (※7) IHクッキングヒーター (レンジフードファン連動タイプ) の上面ヒーターと連動運転させた場合、レンジフードファンは自動的に「標準」モードで作動します。「強」「弱」モードについては、手動操作が必要となります。

■需要動向と開発の背景

近年のオール電化住宅の増加にともなうIHクッキングヒーターの普及拡大を背景に、2006年度のIHクッキングヒーター対応レンジフードファンの需要は、約12万台(前年比約118%)と大幅な拡大が見込まれます。(日立調べ)

当社でお客様に調査を行ったところ、レンジフードファンについては、デザイン、吸い込み力、清掃性、操作性を重視していることがわかりました。特にIHクッキングヒーター使用者においては、IHクッキングヒーターがガスコンロに比べ上昇気流が弱いことから、レンジフードファンに対して、蒸気や煙をしっかり捕集する性能を求めています。

そこで、運転状態に合わせて高い捕集性能など基本性能を充実させ、他のビルトイン機器とも連動するIHクッキングヒーター対応レンジフードファンを開発しました。

■お客様からの問い合わせ先

お客様相談センター 電話/0120-3121-11

■レンジフードファンホームページ

<http://kadenfan.hitachi.co.jp/kankisen/range.html>

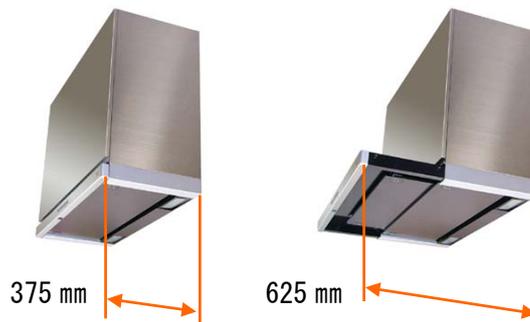
以上

(添付資料)

■ IH クッキングヒーター対応レンジフードファン HE-900SA の詳細説明

1. キッチン吊戸サイズに合わせた、収納時奥行き 375mm の薄型自動伸縮フードを採用

収納時は、一般的なキッチンの吊戸奥行き 375mm に合わせてフード部が収まり (図 1)、キッチンにすっきりフィットします。また、収納した状態で、運転スイッチを入れるとフードが自動的に奥行き 625mm まで手前に伸びて (図 2) 運転を開始し、しっかり蒸気や煙を吸引します。フード前面は、高品質なステンレス仕上げとしました。



[図 1 収納時]

[図 2 使用時]

2. 業界初 (*1) の「3段階スライド整流板」により、高い捕集性能と清掃性を実現

従来機種 (*2) から採用しているフード下面にある整流板 (*3) を、新製品では 2 枚に重ねて配置し、IH クッキングヒーターの使用状態や、清掃作業に合わせて、吸気口の面積や位置を最適にするため、下側整流板が移動する「3段階スライド整流板」としました。

①「強」「標準」「弱」モード

IH など 3 口の上面ヒーターを使用し、レンジフードファンが「強」「標準」「弱」いずれかのモードで作動している場合、上側整流板は手前、下側整流板は奥にあります。伸張したフードの外周と、2 枚の整流板のすき間が、スリット (溝) 状の吸気口となります。これにより、上昇気流の弱い IH ヒーター使用時でも、900mm のフード幅でワイドにしっかり吸い込みます (図 3)。

②「グリル」モード

IH クッキングヒーターに装備されたグリルを使用する場合は、日立独自の「グリル」モードが作動します。IH クッキングヒーターの上面後方に配置されているグリル排気口から効果的に吸引できるように、下側整流板が中間位置に移動して奥側の吸気口を広くして、強力で煙などを吸い込みます (図 4)。また、大風量により、壁面の結露も抑えます。

③「お手入れ」モード

下側整流板を掃除する時は、「お手入れ」モードを選択すれば、ファンの回転が停止したまま下側整流板が手前まで移動し、楽な姿勢で拭き掃除ができます (図 5)。さらに、整流板はフッ素加工が施してあり、油汚れも簡単に拭き取れます。また、整流板の裏側などを掃除する際には、この位置で取り外して丸洗いすることも可能です。



[図 3 標準モード時
(イメージ図)]



[図 4 グリルモード時
(イメージ図)]



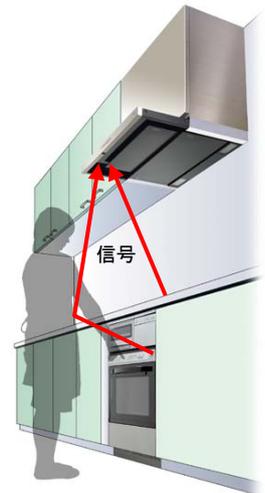
[図 5 お手入れモード時
(イメージ図)]

- (※1) 2007年1月11日現在。家庭用IHクッキングヒーター対応レンジフードファンにおいて。
- (※2) HQ-91SS、HQ-76SS（2006年発売）。
- (※3) 整流板とは、フード内部の吸気口の面積を狭くし、吸気スピードを速くすることで蒸気や煙を効率よく捕集する板のこと。

3. IHクッキングヒーターや電気オープンレンジ（※4）との連動運転が可能

IHなどの上面ヒーター（※5）やグリル（※6）との連動運転機能を採用するとともに、今回同時発表の200Vビルトイン電気オープンレンジ（オープン、グリル使用時）との連動（図6）も可能としました。

- (※4) 当社の200Vビルトイン電気オープンレンジ MR0-SK201と組み合わせて使用した場合。
- (※5) IHクッキングヒーター（レンジフードファン連動タイプ）の上面ヒーターと連動運転させた場合、レンジフードファンは自動的に「標準」モードで作動します。「強」「弱」モードについては、手動操作が必要となります。
- (※6) 当社のIHクッキングヒーター HT-A20WFS、HT-A9TWFS、HT-A9TFSと組み合わせて使用した場合。



[図6 IHクッキングヒーターおよび電気オープンレンジと連動運転]

4. 使いやすい前面操作と、多彩な運転モードを搭載

操作部（図7）は、スイッチボタンが押しやすいフード前面に配置しました。使用時は、自照式のスイッチボタンが光るので、ひと目で運転状態が確認できます。運転モードは、IHクッキングヒーターの使用状態に合わせた「グリル」、「強」、「標準」、「弱」モードに、新たに24時間換気に対応した「常時」モードを加えました。なお、「常時」モード時は、フードを収納したまま運転します。

また、フードの伸縮動作時は、選択したスイッチボタンが点滅するとともに、ブザーで報知するほか、障害物があれば動作を停止するなど、安全性にも配慮しました。



[図7 操作部]

なお、運転音についても、従来に引き続き業界トップクラスの低騒音を実現しています。

5. 環境への配慮

本製品は、使用する原材料がおよぼす環境への影響を低減するため、電子基板への無鉛はんだを採用し、六価クロムを含まない電気めっき鋼板やネジを採用するなど、EUのRoHS指令（※7）に対応しており、J-Moss（※8）に基づいてグリーンマークを表示しています。

（※7） Restriction of the Use of Certain Hazardous Substances in Electrical and Electronic Equipmentの略。欧州連合（EU）域内で取り扱う電気・電子機器製品を対象に実施する有害物質規制のこと。2006年7月1日以降、鉛・水銀・カドミウム・六価クロム・PBB（ポリブロモビフェニル）・PBDE（ポリブロモジフェニルエーテル）の6物質の使用が制限されています。

（※8） 日本工業規格（JIS C 0950:2005）「電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法」。

■新製品の主な仕様

型式	HE-900SA				
外形寸法 (mm)	幅 900×高さ 482×奥行 625 (収納時: 幅 900×高さ 482×奥行 375)				
本体質量 (kg)	30				
運転モード	グリル	強	標準	弱	常時
風量 (m ³ /h) 50/60Hz	600/600	550/550	400/400	230/230	140/140
運転音 (dB) 50/60Hz	37/37	35/35	32/32	20/20	25/25
消費電力 (W) 50/60Hz	90/90	85/85	75/75	50/50	48/48

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
